

## 開発途上国におけるe-Education

アブー・シオンチョイ

(訳＝岡部 正義)

バンングラデシユは、ミレニアム開発目標にある「初等教育の完全普及」達成が見込まれる数少ない国のひとつである。二〇一四年の最新レビューによると、純就学率は二〇〇〇年の六二・九%から二〇一三年には九八・七%に上昇した。中等教育やジェンダー平等にも改善がみられ、このことは他の南アジア諸国と比較しても驚くべき改善である。好状況の背景はドナー諸国や国際機関、政府が積極的に政策面で協調してきた点にある。

しかし、対照的に高等教育就学の改善はほとんどみられない。高等教育の粗就学率は一〇%と世界最悪であり(参考文献②)、農村都市間にも格差がある。農村部では進学機会に限られ、教育の質も疑わしい(参考文献①)。入試競争も熾烈で、特別な対策を要する。予備校などの受験対策業界には民間ベンチャーが参入し、専用の受験対策事業を展開しているが、農村部進出にはほとんど関心がない。あまり大きな需要もなく、農村環境で十分な質の保たれた機会を創出するのが困難なためである。貧困世帯にとっては、受講費用も極めて高額でとても支払うことのできる範囲にはない。

こうした需給不均衡の問題を解決すべく導入された画期的な学習法がe-Educationである。これは、税所篤快氏(日本)とアブドゥル・シエイク・マティン氏(バンングラデシユ)が、UCCというバンングラデシユの有名大学受験予備校とコラボして導入したものである。e-EducationチームがUCCのプロ講師の授業をDVDに録画し、チャンプー

ルという農村地域の生徒たちに映像授業を提供してきている。生徒たちは、講義ノートやテキスト類とともにノートパソコンでこれを視聴する。ちなみにこの地域は、同国のなかでも特に保守的発展から取り残された地域のひとつである。

映像授業にはいくつかの利点と可能性が期待されている。(1)授業を担当するのは、豊富な経験と研修を積んだ講師たちであり、授業の質の確保につながる。(2)授業は何度も再生することができるので、復習しやすく、成績対策となる。(3)教師の欠勤は低い教育達成の原因としてしばしば指摘されてきているが、教師の欠勤対策にもなる。e-Educationの成功の詳細は、税所氏の著作『前へ！前へ！前へ！』で鮮明に紹介されている。

農村部の生徒たちにe-Educationがもたらすインパクトをさらに把握すべく、澤田康幸氏(東京大学)、高野久紀氏(京都大学)と筆者は、ランダム化比較実験(Randomized control trial: RCT)という重要な分析手法を用いて厳密なインパクト評価の実施を目指してきている。この研究ではDVD講義に関心を持った学生をランダムに二つのグループに分け、片方にはDVD講義を提供し、もう片方には提供しない、というRCTの手法に基づく社会実験を行った。計量経済分析の結果、DVD講義を提供したグループは、国立大学への合格率が二二%上昇したことが明らかになった。また、「外向性」といった類の非認知能力、心理的側面が効果上昇につながっていることも分

かった。これらの結果は、学業達成には個人の能力とともに質の高い教育を支援していくことが不可欠だという考え方と一致する。

分析からは、バンングラデシユの大学入試という文脈に限らず、他の開発途上国における教育セクターへの適用可能性が期待される。映像講義は、教室授業を補い、教育学者が取り組んでいる教育の質の問題の改善にもつながる可能性を持つており、特に中等教育段階の生徒たちに役立っている。さらに、農村都市間の教育格差の是正や、将来の所得機会や貧困に資する必要なスキルの達成という人的資本開発にも役立つ。依然として電力やコンピューターといったインフラの不足が、e-Educationの試みの障害となっているものの、政府と援助機関とが一丸となって努力し、教育という経済成長につながる分野に高い優先順位を設定しつつ取り組むことが期待される。

(Abu Shonchoy / アジア経済研究所 開発研究センター、訳＝おかへ ちやよし)

※本稿の英語原稿は、当研究所ウェブサイトからご覧になることが可能です([http://www.aid.go.jp/english/research/Region/Asia/201409\\_shonchoy.html](http://www.aid.go.jp/english/research/Region/Asia/201409_shonchoy.html))。なお、筆者の同意に基づき、紙幅の制約により、一部、原文から意識したり、言いかえ・省略したりしていることをお断りします。

## 《参考文献》

- ① Mujeri, Mustafa. K. "The Rights-based Approach to Education in Bangladesh." *Bangladesh Economic Review*. 33(1): 2010. pp. 139-203.
- ② World Bank. "Seeding Fertile Ground: Education that Works for Bangladesh." Washington, DC: World Bank. 2013 (<http://www.worldbank.org/en/news/feature/2014/04/02/seeding-fertile-ground-education-that-works>).